

# オーバルコースを 逆ハン、ドリフトで 駆け抜ける プロトラックレーシング

# ドリフトテク磨きつゝレーサー気分で仲間と遊ぶ



これが実際にマシンに乗り込んだ人間のアングル。けっこう一連そのでしょ



急ぎよ行なわれたホリデーカップ争奪戦。みんながまっすぐ走ってるのはスタートのときぐらいのモン

いわゆるスリックカートって呼ばれるツルツル路面で遊ぶカートっていうのは、簡単なようで結構コツがいる。とーにかくう、やったらめったら路面は滑るんだから、普通のクルマの運転感覚で走ろうとしてもコイツはなかなかいいことを聞かない。エンジンは汎用の100ccくらいのもので、せいせい5psくらいしかないんだけど、スタートで全開にするとホイールスピンするくらいなんだからそのグリップレベルの低さは分かるでしょ。要するにツルツルなんです。

だから、コーナーの入口で普通にハンドルを切ったって、すごいアンダーステアが出るだけてなかなか曲がっちゃくれない。外側のガードレール目がけて一直線だ。

コイツの必殺テクは、まず一発ステアリングを切り込んでアンダーが出たところで、ひるまずにさらにスロットルオンすること。

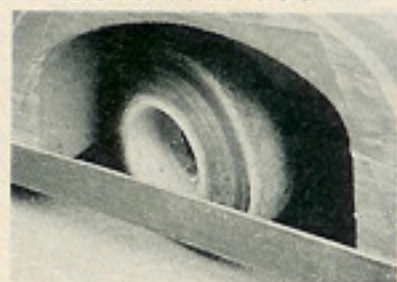
普通のクルマの場合は、そんなことをすると余計アンダーが出ちゃうんだけど、スリックカートはとにかくアクセルでケツを流して曲がるしかないのだ。

ケツさえ流せばこっちのものだから、このあとアクセルコントロールでコーナーを維持するのは普通のクルマと同じ。テクニク、ドラテクの向上にも結構タメになる。

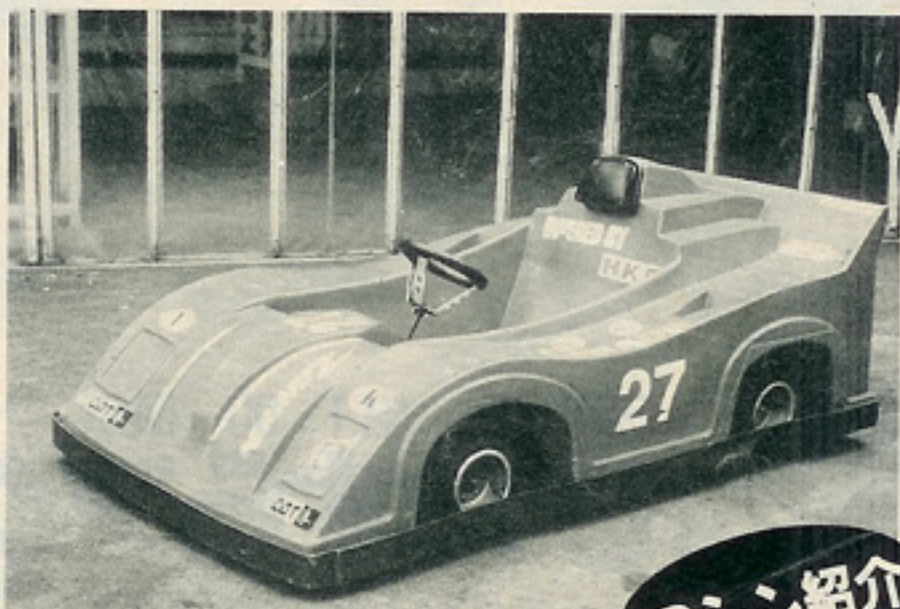
真横になって、2台揃ってフルカウナーでコーナーを抜けて行くなんていうワザは、よそじゃちよっと体験できませんからね。

(レポート●鈴木直也)

▼もちろんタイヤはスリック



- ▶見た目はGCカー。ただし大きさは4分の1くらい。でもこれ、1台120万円もするのだ
- ▲エンジンは100cc 5ps程度
- ◀ステアリングは小径20φ(??) 右がアクセル、左がブレーキだ



マシン紹介